

平成24年度第2回芦屋市スポーツ推進審議会会議要旨

日 時	平成24年12月20日(木) 16:00~17:30
場 所	芦屋市役所北館 4階 教育委員会室
出席者	<p>会 長 岡田 明</p> <p>副会長 西田 俊一</p> <p>委 員 古津 純子, 山口 泰雄, 長野 良三, 平野 貞雄, 中村 整七 石田 要 (4名欠席)</p> <p>事務局 福岡 憲助教育長, 西本 賢史社会教育部長, 木高 守 スポーツ・ 青少年課長, スポーツ・青少年課(権藤 弘之, 大西 貴和, 寺本 三恵子, 石原 孝夫)</p>
会議の公表	<p style="text-align: center;">■ 公 開      □ 非公開      □ 部分公開</p> <p style="text-align: center;">&lt; 非公開・部分公開とした場合の理由 &gt;</p>
傍聴者数	0人

1 開 会

2 岡田会長挨拶

3 福岡教育長挨拶

4 議 事

- ・委員8名の出席により審議会条例第6条第2項の規定により、本審議会成立
  - ・情報公開条例第19条(保有個人情報の開示義務)の規定により議事録等公開を確認
- 岡田会長 議題(1)「芦屋市民スポーツ意識調査の結果」について

「芦屋市民スポーツ意識調査」の結果についてでございますが、調査研究部会を設置いたしまして作業を進めてまいりました。この調査研究部会は山口委員が部会長となられて進めていただいておりますが、この議題につきましては、山口委員からお進めいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

山口委員 「平成24年度芦屋市民スポーツ意識調査 報告書」を基に説明

この報告書の目的ですが、市民のスポーツ活動の実態を総合的に把握し、芦屋市のスポーツ推進に役立てるということにあります。特にスポーツ推進計画の策定の重要なベースとなるということが特徴であります。

この調査は3回目でございますが、1回目は平成13年に行い、平成14年のスポーツ振興審議会からの「アクティブ芦屋スポーツプラン」のベースとなりました。そして、その翌年に芦屋市スポーツ振興基本計画を策定しま

した。このプランは10年を見通したプランでしたので、5年後に同じ調査を前回平成19年に実施いたしました。

今回の調査報告をまとめますと・・・

- ①定期的実施者（週1回以上62%）は10年前のマスタープランの目標をほぼ達成。全国平均の45.3%をはるかに上回る。全国の10年後の目標にほぼ到達。
- ②20代・30代の壮年層の男女ともに実施率が非常に上がった。週1回だと14～15ポイント上昇。
- ③実施種目の上位は、ウォーキング、ストレッチング、体操、ジョギング。特に男性のジョギングが9ポイント伸びた。
- ④実施時期については、女性の平日午前が伸び、男性の休日午前が伸びた。
- ⑤実施形態としては、「1人で実施」が伸びた。  
（女性は「家族と一緒に」も伸びた）。
- ⑥今後の希望する種目は水泳。  
（女性；ヨガ、ウォーキング、男性；ジョギング、ハイキング、サイクリング）  
民間クラブの加入（加入希望）が特に女性が伸びた

岡田会長 それでは、ただいまの報告に対して、何かご質問やご意見がございましたらお願いします。

石田委員 スポーツボランティアの経験については、地域の運営に参加される方が固定化されていて、若い方が入ってこれていないのではないですか。  
この調査では、そういった年齢別での分析はなさっていますか。

山口委員 今回の分析には入れていません。

例えば、神戸マラソンだと大学生がボランティアとして入っています。このような単発のイベントだと参加してくれていますが、クラブのような日常的なものだとなかなか学生は参加しづらいのではないかと思います。

スポーツクラブ21でしたら、西宮市の関西学院大学の同窓会が地域のスポーツクラブ21に対してスポーツ教室をやっています。芦屋だと、芦屋大学やスポーツ専門学生もいますので、インターンシップやボランティアといった形で入ってきてくれると活性化してくるのではないかと思います。これは次のプランに入れていけばいいと思います。

芦屋国際ファンランのボランティアはどうなっていますか？

事務局(権藤) シーサイドタウンを中心にコースを設定していますので、地域の自治会の方が何百人規模でお世話になっていますし、私どもの担当になっているものでも高校生に100人規模でお世話になっています。

単発イベントのボランティアは多いですし、最近開催したリレーマラソンでも多いです。ただ、石田委員の質問は日頃の活動でのボランティアのこと

だと思えます。

西田副会長 若い世代、学生であっても仕事を始めると環境が変わることが多いので、地域から離れる可能性があります。イベントやスポーツをやろうという意識は若い世代にもありますので、その中でどう取り組んでいくかが課題です。

山口委員 地域のスポーツクラブで1番多いパターンのボランティアは自分の子どもが会員になって、母親が給水のお手伝い、父親がそのスポーツを経験したことがあればアシスタントコーチとして参加する。ただ、子どもがスポーツクラブからいなくなると、親はなかなか残らないことが多いです。

岡田会長 他にございませんか。

平野委員 この調査では住所地などはわかりませんか。

山口委員 今回の調査ではわかりません。

平野委員 この調査では、本市にほしい施設について興味深く見ていました。例えば、ウォーキングコースについて、南の方は新しい街ということもあって整備がされていますが、山側がされていません。水泳でいうと南側には屋内プールはありますが、北側にはありません。芦屋市は縦長で、しかも山から海に向かっての町になっているので、地域の特性もあって、私の立場から施設整備の要望がどこが強いかに関心がありました。今回の調査ではわかりませんが、なんとなく推測はできるのかなとは思っています。

山口委員 いくつくらいに分けて調査すればよいですか。

平野委員 北と真ん中と南側3つくらいに分けてみてはいかがでしょうか。

山口委員 わかりました。そういった分け方はできますので、次回の5年後は行うということで検討します。

岡田会長 以上につきましては報告ということで、このへんにさせていただきます。つづきまして、議題2の「市民スポーツの現況調査の報告」について事務局から報告願います。

事務局(権藤) 「市民スポーツの現況調査の報告」について、資料を基に報告

事務局(田淵) 「体力・運動能力」について、資料を基に報告

岡田会長 それでは、ただいまの報告に対して、何かご質問やご意見がございましたらお願いしたいと思います。

西田副会長 中学校の水泳の現状はどうなっていますか。

中村委員 山手中学校には、水泳部というものはなく、大会がある時には、学校の教員が連れて行くことになっています。

山口委員 体力テストですが、小学校、中学校の全数調査ですか。

事務局(田淵) 全数調査です。小学校5年生、6年生、中学3年生の全生徒です。

山口委員 5分間走は体育の時間の中で行っているのでしょうか。

事務局(田淵) 中学校に関しては、毎時間ではないですが、5分間走ということで、中学

校の体育研究会の方で取り組んでいると聞いています。

岡田会長 では、議題3の「今後の審議会及び調査研究部会の日程」について事務局より説明願います。

事務局(木高) 資料を基に今後の日程を確認

岡田会長 この日程で進めさせていただいてよろしいでしょうか。

承認

岡田会長 議事4の「その他」ということで、なかなか審議会を開催することがすく  
のうございますので、ぜひ質問などがございましたら、お出し願います。

無いようですので、本日の私の議長としての役割は終わり、事務局にお返し  
します。

事務局(権藤) 最後に本日のお礼のご挨拶を、西本社会教育部長からさせていただきますし  
て、終わりたいと思います。

西本部長 お礼の挨拶

以上